

最後のけっぱり

細田 薫

秋田県・49歳・自営業

52

ねえ、力^{つとむ}、モンの弔辞聞こえてる。「朝日の当る家」の夢は終わったね。W1が好き、拓郎が好き、バスケットが好き、私の事はっといても、仲間と酒を飲むのが一番あなたの機嫌のいい時、それを見ているのがこち良かった。この先に静かな未来を見切った矢先に、突然に逝ってしまい、私以前、雷が体を通電した時の痛くて熱いショックをまた受けた。今日は力丸^{りくまる}の誕生日なのに、お葬式なんていや……。

杉の緑、どんぐりの緑、樺^かの緑、私のための春は色を感じず、この夏は暑かったと言っただけけど、昨日紅いトンぼが目の前に。そうだ、あなたの大切な田んぼ忘れていた。ごめん、もう穂の下がる時期になったみたい。百の手いるのに何ひとつ私出来なかった。

だけど昨年秋二人で決めた事はちゃんとやってる。老後のための桜の植林、3000年分の御先祖様の墓ほり、私のこと雑用しに嫁に来たんだと言ったんだから、私のけっぱり見てますか。死にぞこないの嫁の最後のけっぱりです。

あんたが友達に私用に残してくれた言葉、あの時、この時と聞いたけど、はんかくしえ、ばがけ、くそくらえ、ちゃんと私に言ってよ。私が全身からダラダラと血を流し続けているのが見えますか。どう生きて行こうか模索しながら血をなめています。新盆に力丸と長い話してたけど、「お前の人生だ、思った通りに生きろ」とあなたの口ぐせ言ってたのかしら。

最近夢の中に来てくれませんが、お話があります。今夜おいで下さい。あんたの事、だんだんきまげらんで離婚するとモンに言ったら、亡くなった人から印^{はな}はもらえませんととの事。そう？ それと私の方があんたに惚れてたって事。秀子なんか指して笑うほどに。逝ってしまったあんたへのこの手紙は、消えてしまった夢の対にあるお墓へ届けます。返事は夢の中へ

薫

※表らない恋のひとつの終わりにと書き上げました。49歳で3月逝きました。

佳作

53